

久米総合開発株式会社

真空包装機・大型冷凍コンテナ導入による 通年供給体制の確立

現在、冷凍車海老は需要が高まる時期と製造ピークに半年のずれがあり、機会ロスが生じている。品質保持管理に必要な真空機やラベラー導入及び大型冷凍コンテナ設置で通年供給可能な体制に整え、機会ロスをなくし、車海老全体の平均単価を上げる。



東シナ海に面した車海老養殖場。6つの養成池は総面積66,000㎡。
車海老はここで7ヵ月養殖される

課題

■ 単価の高い商品を製造開発するため設備拡充を図った

事業のきっかけ

今までは飲食店に卸す業務用の簡素な包材の冷凍商品をメインに製造していた。販路を広げるべく、見た目が良く安定供給でき、単価も高い商品を作りたいと考えたが、実現するための設備が足らなかった。そこで商品の品質向上のために真空包装機を導入し、車海老を真空パッキングして軽量・ラベリング後に急速冷凍した。冷凍車海老の大量ストック用に大型冷凍コンテナも設置した。製品情報などを一括表示でき商品管理に役立つラベラー機を導入することでより高品質な冷凍車海老を製造し、通年供給が可能となった。結果、価格変動の激しい市場に左右されない、安定した収益確保へと繋がった。

成果

■ 「活きメ急速冷凍車海老」を製造、贈答品需要高まる

事業の取り組み～成果

導入した真空包装機を使い、活きた車海老を真空状態で急速凍結した商品を試作し製品化した。パッケージにも気を配り、既存商品である車海老を衛生的で高級感のある贈答品として販売することができ、商品価値が高まった。ラベラー機では、製品情報や製造ロットを一括表示管理することで安心・安全な商品の提供が可能になった。また、大容量冷凍コンテナ増設により商品のストックが増え、在庫調整も可能となり、需要の多い年末にも対応可能となった。導入した設備を駆使することで、高品質で長期保存可能な商品の安定供給が見込め、新規顧客はもちろん新規取引先の開拓も可能となった。

展望

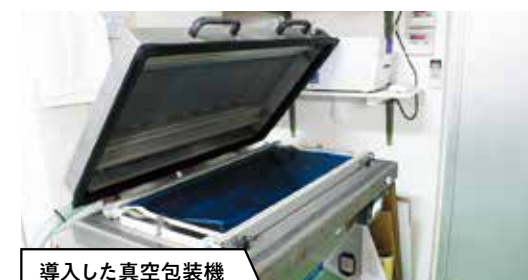
■ 高品質で長期保存可能な商品の安定供給が目標

今後の展望

従来の活きメ急速冷凍車海老(冷凍商品)の出荷は飲食店との販売取引が主であるが、今後市場価格が高騰した際には、真空活きメ急速冷凍車海老も平行して出荷を行うことで収益の安定化を図る。新しく試作した真空活きメ急速冷凍車海老は小容量で長期保存が可能なため、贈答品としての商品を製造し、通年出荷可能な商品として予定している。今後は品質向上のためHACCP導入も視野に入れている。昨年度から久米島町のふるさと納税の返礼品に採用されたおかげで全国から注文があり、昨年から大幅に出荷数が伸びている。それをPR商品として展開し、新規顧客獲得へのきっかけとしたい。



活車海老は冷却水槽に入れ氷水でべた後、真空包装され、-50℃で急速冷凍される



導入した真空包装機

Q 御社の**モットー**を教えてください

A 地元に残り添った誠実な事業展開

つむぐ × つなぐ

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

安里さんビジョン

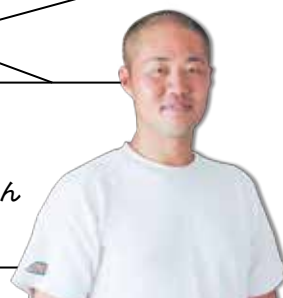
当社は車海老養殖事業以外にも、不動産業、レンタカー、中古車販売などを手掛ける多角経営をしている。地元・久米島で創業して約40年、地域に支え続けられてきた。これからも地域の皆様、観光客・全国のお客様に、久米島産の新鮮で美味しい高品質の車海老を安定して届けていきたい。

佐々木さんビジョン

久米島が大好きで、久米島で働きたくて移住した。入社してまだ1年足らずだが徐々に慣れてきた。車海老は商品詰めする際、サイズ毎に選別し、弱った海老や傷ついている海老も取り除く。速さと正確さが大事で、かつ丁寧な作業を心掛けている。お客様が喜んでくれるとこちらも嬉しく、やりがいを感じる。



代表取締役社長
安里 美加子 さん



若手代表
佐々木 拓哉 さん



久米総合開発株式会社

〒901-3133
沖縄県島尻郡久米島町北原1
tel.098-985-3254 fax.098-985-4385



代表者名 代表取締役社長 安里 美加子
資本金 7,000万円
設立 昭和51年5月
従業員数 18人

